



業界情報の紹介コーナー

2026年6月の知っていた方が良い情報（月刊）第58号

1. 【2026年5月の国内新車販売台数について】（前年比プラス表示）

国内新車販売台数は、前年比2.8%増と2カ月連続プラス(332,997台)

順位	ブランド	5月	1～5月累計	順位	ブランド	5月	1～5月累計
1	トヨタ	112,016(13%)	622,001(3%)	8	スバル	7,280(28%)	29,042(▲4%)
2	スズキ	54,441(▲2%)	398,426(▲2%)	9	レクサス	6,352(▲10%)	3,375(▲7%)
3	ホンダ	43,091(4%)	262,700(▲2%)	10	いすゞ	4,404(▲10%)	30,735(1%)
4	ダイハツ	38,193(1%)	235,246(11%)	11	三菱ふそう	2,785(14%)	15,258(25%)
5	日産	25,969(▲6%)	179,960(▲3%)	12	日野	2,696(10%)	15,617(▲3%)
6	マツダ	8,380(1%)	62,760(▲12%)	13	UD	782(▲6%)	5,148(▲1%)
7	三菱	8,127(▲5%)	55,193(11%)				

※なぜ⇒トヨタが供給制約が続いている中13%増で全体を牽引した。コロナ過以降の5月として最も多かった。

2. 【新車ディーラーでオイル調達難が表面化】

・スズキの一部ディーラーでオイル交換の停止を発表。トヨタやダイハツでもホームページを通じて「出来ない場合があります」と告知している。

部品供給側のトヨタモビリティパーツによると「顧客が求める量を十分供給できていない」と伝えている(トヨタ販売店も一部停止を発表としている)

3. 【中東問題でディーゼル用エンジンオイル不足が深刻】

・ガソリン車用は供給が続いているが、ディーゼルはメドが経っていない

※なぜ⇒カタール産は全体の2割を占めているがイランの攻撃で全面停止(残り8割が韓国からの輸入で継続中)ディーゼルオイルが深刻な理由は添加剤(酸化防止剤)の供給のメドが経っていない模様。当面、メインオイルは韓国からの輸入にはメドが経っているという見方が一般的である。

4. 【2025年解体車7年連続で減少し3月も落込み大きい】

・直近では1～3月の新車販売減が影響している。

近年、リサイクル部品が損害保険会社や整備工場の認知が高まっている為、影響が出ている

